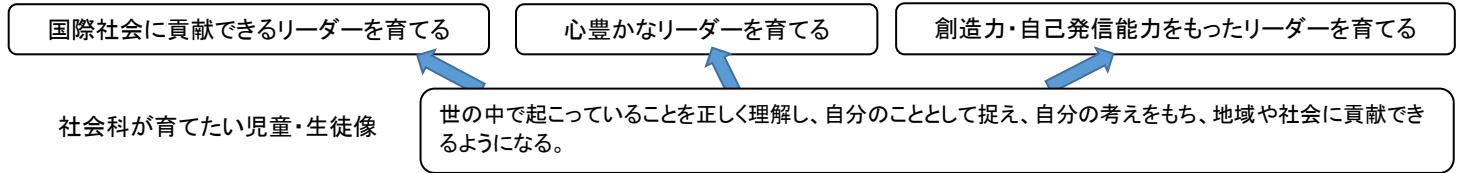


教育方針



5年

月	学習項目	学習目標・学習内容	探究 【Ⅰ】仮説検証型【Ⅱ】グローバル型 【Ⅲ】創造表現型【Ⅳ】その他
4	1. わたしたちの国土(20時間) ①世界のなかの国土 ②国土の地形の特色 ③低い土地・高い土地のくらし ④国土の気候の特色 ⑤あたたかい土地・寒い土地のくらし	①日本の領土、世界の主な大陸や海洋、世界の主な国の名称と位置を地図や地球儀で意欲的に調べ、世界の中の日本の位置を正しく言い表す。 ②国土の地形(山・川・平野など)の様子と特色を理解する。 ③低地と高地の特色ある生活や産業を意欲的に調べ、自然の恵みを生かす生活が分かる。 ④国土の気候の様子、季節風の仕組みを理解し、雨温図の区別ができるようになる。 ⑤沖縄県・北海道の気候とくらしを調べ、自然の恵みを生かす生活が分かる。	①【Ⅱ】世界の地名について、地球儀や地図帳で調べることを習慣にする。 【Ⅲ】「宇宙人に日本の位置を説明するとしたら？」どのように、日本の位置を説明できるか考え、表現する。 ②【Ⅳ】基礎基本である、教科書に載っている地名を必ず覚える。【Ⅰ】「なぜ日本の川は短いのか」等、理由を考える。 ③【Ⅰ】教科書に載っている、低地・高地の新旧の写真を比べることで、なぜそのように変化しているのか考え、検証する。 ④【Ⅳ】日本の気候について、6つの雨温図の特色を自分の言葉で表現する。 ⑤【Ⅰ】教科書に載っている、家の写真よく見ることで、なぜそのように工夫しているのか考え、検証する。
6	2. 生活と食料生産(25時間) ①くらしを支える食料生産 ②米づくりのさかんな地域 ③水産物のさかんな地域 ④これからの食料生産	①生産物の種類や分布、生産量の変化などに着目し、日本の食料生産の概要を捉え、自然環境との関連性を考え、表現する。 ②山形県庄内平野を例に、米づくりがさかんな理由や主な仕事の手順を調べる。また、米の生産と輸送にかかわる人々の工夫を調べ、理解する。 ③水産物と食生活のかかわり、とる漁業・育ててとる漁業、水産物の輸送などの工夫を調べることで、消費者の需要に応える工夫を知り、これからの水産業を考える。漁業別生産量の変化を理解する。 ④生産者と消費者を直接つなぐ新しい取り組み、持続可能な水産業を目指す新しい取り組みなどを調べ、日本の食料生産のこれからの在り方について、自分の考えを表現する。	①【Ⅰ】米、果物、野菜、畜産業は、日本のどのようところで盛んなのか、地形や気候の点から仮説を立て教科書等を使い検証する。白地図上に、生産物等をまとめる。 ②【Ⅳ】「なぜ日本海側の方が米作りに適しているのか」について、ほぼ同緯度の酒田市と宮古市の雨温図を比べ、グループで考える。 ③【Ⅲ】漁業別生産量の変化のグラフより、遠洋漁業や沖合漁業の生産量が減っている原因を考える。また、日本の水産業がかかえている課題について調べ解決策を提案する。 ④【Ⅲ】グループで、日本の食料生産がかかえる課題を4つ以上あげる。また、食料自給率を上げるためにできることを提案する。
7			
9			
10	3. 生活と工業生産(20時間) ①くらしを支える工業生産 ②自動車工業 ③輸送と貿易 ④これからの工業生産	①身の回りの工業製品について理解を深め、工業の種類、軽工業から重工業への変化、工業の盛んな地域の分布や特色を調べることで、日本の工業の特色が分かる。 ②自動車工業を例に、自動車づくりの流れ(組立工場・関連工場)を調べ、部品の在庫を減らす工夫などを理解する。地球環境や人にやさしい自動車など、質の高い工業製品が生活の向上に果たす役割を実感する。 ③日本の輸出・輸入の現状、貿易相手国の位置や主な輸送経路を調べ、工業生産を支える、日本の貿易の特色が分かり、その問題点に気づく。 ④伝統工業や中小工場の優れた技術などに着目し、工業生産の課題をとらえる。原材料や資源の多くを輸入に頼る日本の現状をふまえ、消費者の需要や社会の変化に対応した、新しい技術の開発などが重要であることを理解する。	①【Ⅲ】教室の中から工業製品を100個見つけ出す活動をする。機械や金属などに製品を分類することで、身の回りの多くのものが工業製品であることに気付く。 ②【Ⅰ】「自動車をはやく正確に作れるのはなぜか？」について、NHK動画を視聴し、考える。 【Ⅲ】「自動車づくり新聞」にまとめ発表し合う。 ③【Ⅰ】トラック、鉄道、船、飛行機など輸送方法と運ぶものの使い分けを予想し考える。日本は何を輸出入しているか、調べる。【Ⅲ】原料が少ない日本はエネルギーをどうしていくべきか話し合う。 ④【Ⅲ】教科書の本文、グラフや写真から、「資源確保」「人口減少」「環境への配慮」などに着目し、持続可能な社会づくりに大切だと思うことを話し合う。
11			
12	4. 情報化した社会(15時間) ①情報産業とくらし ②情報を生かす産業 ③情報を生かすわたしたち	①テレビ局が、ニュース番組を作るための情報収集から放送するまでの過程に着目して、国民生活に大きな影響を及ぼしていることを理解する。情報の受け手として正しく判断することや送り手として責任をもつことが大切であることを理解する。 ②コンビニエンスストアでは、どのような情報を何のために活用しているのか調べることで、現状をとらえ、大量の情報や情報通信技術の活用は、様々な産業を進展させ、生活を向上させていることを理解する。 ③情報活用のあり方について、情報の種類、情報の活用のしかたなどに着目して、情報活用のルールやマナーの大切さを認識し、情報の適切な活用のしかたを身につける。	①【Ⅲ】テレビのニュース番組ではどのような情報が放送されているか分析し、どのように情報を集めているのか番組にしているか調べ、情報を上手に生かす方法を考え、放送局が情報を届けるまでの働きを、話し合いまとめる。 ②【Ⅲ】コンビニエンスストアの情報活用について、関係図にまとめ、発表し合う。 ③【Ⅲ】学習内容をもとに、自分たちの「情報モラル」を振り返り、グループごとに作成したクイズを相互に発表し合い、情報を活用するうえで大切だと思うことを整理して「情報活用宣言」を書く。
1			
2	5. 生活と環境(15時間) ①自然災害を防ぐ ②生活と森林 ③環境を守るわたしたち	①自然災害は国土の自然条件などと関連して発生していることや災害から生活を守るために国や県などが対策や事業を進めていることを理解する。 ②日本の森林の分布、林業の工夫と努力、森林の働きについて理解する。 ③日本の4大公害病の発生場所や原因を知る。京都の鴨川を例に、環境を守る大切さをそれぞれの立場で理解する。	①【Ⅳ】地震、津波、風水害が日本ではなぜ起こりやすいのか、予想。国や県などが行う、防災の取り組みを調べる。 ②【Ⅲ】国土の環境をとらえ、森林資源が果たす役割を考えて自分ならどのようにして森林資源を守っていくか、発表する。 ③【Ⅲ】自然に対する二つの考え方があつたことを整理し、自然を守りながら人々が生活していくためにはどのようなことが大切か、自分の考えを書く。
3			

・今までの5学年の社会では、日本の各地方(九州・中国四国・近畿・中部・関東・東北・北海道)の自然と産業について、白地図を用いて、網羅的に学習し、ところどころ教科書を活用していた。2020年度から、教科書をメインテキストとして授業を進めているが、日本の各地方の知識の整理がしづらいため、区切りの良いタイミングで各地方別の地理を学習したいと考えている。

教育方針

国際社会に貢献できるリーダーを育て

心豊かなリーダーを育てる

創造力・自己発信能力をもったリーダーを育てる

社会科が育てたい児童・生徒像

世の中で起こっていることを正しく理解し、自分のこととして捉え、自らの考えをもち、地域や社会に貢献できるようにする。

6年

月	学習項目	学習目標・学習内容	探究 【Ⅰ】仮説検証型【Ⅱ】グローバル型 【Ⅲ】創造表現型【Ⅳ】読み取り・その他
4	原始のくらし 縄文時代～弥生時代～古墳時代	・縄文時代と弥生時代の生活や道具を比べ、各時代の特色をつかむ。むらからくにへ変化する要因を理解する。 ・古墳の構造を理解し、何のために作られたのかを考える。古墳の分布から国土がどのように統一されたのかを理解する。	【Ⅳ】中国の歴史書に書かれていることを読み取り、当時の日本の変化をさぐる 【Ⅱ】縄文時代と弥生時代、あなたが住むならどちら？を考えプレゼンする 【Ⅳ】時期ごとの古墳の分布を読み取り、古墳の広がりから言えることは何かを考える
5	古代社会のくらし① 飛鳥時代・奈良時代	・聖徳太子の業績から、天皇中心の政治を目指したことを理解する。隋との関係を理解し、遣隋使が与えた影響を考える。 ・大化の改新、聖武天皇の政治について、天皇を中心とした政治が確立されたことを仏教の力の利用と関連させて ・聖武天皇がどのような目的で大陸と交流を行ったのか、何が日本にもたらされたかを理解する。	【Ⅰ】”天皇中心の国づくり”が何度も目指された理由を考える 【Ⅳ】木の荷札(木簡)に書かれていることを読み取り、税制度について考える 【Ⅲ】聖武天皇、農民になったつもりで、天皇中心の世の中を説明してみる
6	古代社会のくらし② 平安時代	・平安時代の大きな流れをつかむ。 ・菅原道真による遣唐使の廃止で、国風文化が発展したことを理解し、その具体的な作品にふれる。 ・浄土思想が世の中に与えた影響を考える。	【Ⅱ】なぜ武士は勢力をのばしたのか？(貴族の力がおとろえたのはなぜか?)を考える 【Ⅱ】藤原氏が栄えていた頃の文化と以前の文化の違いを考え、政治史との関連を考える
7	封建社会のくらし① 鎌倉時代	・平氏政権から鎌倉幕府の成立の流れを掴み、封建制度の仕組みを理解する。元寇について、理解する。	【Ⅳ】フビライの国書を読み取り、元側の思惑を読み取り、それに対する日本側の思惑を考える
9	封建社会のくらし② 室町時代～安土桃山時代	・後醍醐天皇による建武の新政、南北朝の動乱について、その流れを理解する。北山文化と東山文化を比較する。キリスト教や鉄砲の伝来による変化を考える。織田信長の政治・豊臣秀吉の政治、徳川家康の政治を比べ、3人の特色をつかむ。	【Ⅱ】室町文化が今に伝わる文化となったのは、なぜか？以前の文化と比較しつつ考える 【Ⅳ】合戦図からわかることをあげる(全員違うことを探す) 【Ⅱ】信長・秀吉・家康の中でだれが一番かしく、世の中に影響を与えたか？について考えプレゼンする
10	封建社会のくらし③ 江戸時代	・江戸時代が始まり、戦国の世が統一され身分制度が確立し、武士による政治が安定したことを理解する。 ・歌舞伎や浮世絵、国学や蘭学について知り、町人の文化が栄え、新しい学問が起こったことを理解する。	【Ⅰ】大名の種類を区別し、大名配置にどんな工夫がされているかを読み取る
11	近代社会のくらし① 幕末～明治時代	・江戸幕府がどのように倒されたのか、国内の要因と対外的な要因の2つの視点から考える。 ・廃藩置県や四民平等などの諸改革、文明開化などを調べ、明治維新を進めた人々がどのような国づくりを目指していたのかを考える。 ・自由民権運動の流れを民権派のねらいを考えながら理解する。大日本帝国憲法の内容を理解する。	【Ⅱ】政策を以前と比較し、どのような点が昔にもどり、なぜ昔にもどしたのか？(どこか昔と違うのか)を考える 【Ⅳ】民権運動に関する風刺画を見て、運動に対する政府の弾圧と人々の反応について考える
12	近代社会のくらし② 明治時代	・日清戦争や日露戦争は原因と結果を世界の動きを絡めて理解する。戦争や条約改正、科学の発展などから日本の国際的地位向上を考える。	【Ⅳ】風刺画から、日本の思惑と世界の国々の思惑を考え、対外戦争の背景にある要因について考える
1	近代社会のくらし③ 大正時代～昭和時代	・なぜ戦争が起こったのか、日本の目的や状況、世界の国々の目的や状況をふまえて理解する。 ・満州事変や日中戦争、第二次世界大戦の背景や経過を確認し、日本国民がどのような生活を送っていたのかを理解する。	【Ⅳ】戦火の広がりを読み取り、なぜ広げる必要があったのかを考える 【Ⅳ】どのような場소가空襲を受けているかを読み取る。 【Ⅲ】第2次世界大戦は、人々にどのような影響を与えたか、まとめ、戦争に対する自分の考えをもつ
2	平和な日本へ 昭和時代～平成 私たちの生活と政治①	・戦後の改革の内容と影響、日本国憲法の制定を理解し、どのような国を目指したのか、アメリカのねらいを絡めて考える。 ・サンフランシスコ平和条約により、国際社会に復帰した日本の動きを理解する。 ・日本国憲法は、国家の理想、天皇の地位、国民の権利と義務などが定められていることを、大日本帝国憲法との比較をしつつ理解する。	【Ⅲ】戦後の新しい日本を表すキーワード(戦後改革、国際連合、オリンピックなど)をもとに、キャッチフレーズをつくる 【Ⅳ】大日本帝国憲法と日本国憲法を時代背景とともに比較し、内容を理解うえで、憲法改正に関する自分の考えをまとめる
3	私たちの生活と政治②	・国会や内閣、裁判所のそれぞれの役割と関連について、理解する。選挙の投票率の向上のための案を出し合い、議論する。 ・国民生活には地方公共団体や国の政治の動きが反映されており、民主主義の民主政治が行われていることを理解する。	【Ⅲ】投票率の向上のための案を出し合い議論する 【Ⅲ】模擬裁判を行い、根拠を明確化して判決を出すことを通して、裁判員制度の難しさについて考える

教育方針

国際社会に貢献できるリーダーを育てる

心豊かなリーダーを育てる

創造力・自己発信能力をもったリーダーを育てる

社会科が育てたい児童・生徒像

世の中で起こっていることを正しく理解し、自分のこととして捉え、自分の考えをもち、地域や社会に貢献できるようになる。

7年

月	学習項目	学習目標・学習内容	探究 【Ⅰ】仮説検証型【Ⅱ】グローバル型 【Ⅲ】創造表現型【Ⅳ】その他
4	1. 世界の姿 ・地球をながめて ・いろいろな国 ・緯度と経度 ・地球儀と世界地図 ・緯度が違うと？	・六大陸三大洋、世界の地域区分について、地球儀や世界地図を活用して、立体的に捉える。 ・主な国の位置や国旗を分かるようにする。 ・地図帳を用いて、面積が大きい国・小さい国を調べる。 ・緯度・経度・本初子午線を理解し、対蹠点を求められるようにする。 ・メルカトル図法、モルワイデ図法、正距方位図法の特徴をつかむ。 ・自転や公転により、四季や気候の変化が起こることを理解する。	・【Ⅰ】地図帳で直線的な国境を探る。なぜよのように引かれるようになったのか、仮説を立て、調べ検証する。 ※例・・・アメリカ合衆国とカナダ、エジプトとスーダン ・【Ⅲ】地球儀を使い、どの位置から白夜は起こる現象なのかグループで考え、発表する。
5	2. 世界の気候 ・生活と環境 ・暑い地域の暮らし ・乾燥した地域の暮らし ・温暖な地域の暮らし ・寒い地域の暮らし ・高地の暮らし	・5つの気候帯がどのような基準で分けられたのか理解し、気候区分の特徴が分かる。 ・景観写真や雨温図を読み解き、世界各地の地理的特色を考える。 ※例・・・インドネシア、アラビア半島、スペイン、シベリア、アンデス山脈	・【Ⅳ】気候区分の特徴を表に全て整理する。
6	・世界の衣食住 ・宗教と生活	・自然環境が衣食住に与える影響を具体例をもとに考える。 ・民族宗教の例を理解し、世界宗教の開祖・聖典・分布地域・特色などを表にまとめる。	・【Ⅲ】伝統的な衣食住と現代的な衣食住を見分けるポイントは何か、グループで考え発表する。
7	3. アジア州 ・アジア州の自然環境 ・アジアの農業と文化 ・中国 ・東南アジア ・南アジア	・「巨大な人口と急速な経済発展」に注目し、アジア州の地理的特色を理解する。 ・地形や気候の特徴を理解する。 ・降水量による農業(稲作・畑作・遊牧)の特徴を理解し、食文化(米、めん)の違いに気づく。 ・中国の工業化と生活の変化、経済格差の広がり理解する。 ・外国とのかかわりで東南アジアの工業化が進んだことを理解する。 ・インドのカースト制度、ICT関連産業の特徴を理解する。 ・西アジアの原油、中央アジアの鉱産資源と他国との関わりを理解する。	・【Ⅰ】「なぜ急速に経済発展したのか」をテーマに、中国/東南アジア/南アジア/西アジア/中央アジアの地域に分けて、「新聞」を作成する。また、根拠となるデータを示し、今後の予測をする。 ・【Ⅲ】日本は、「巨大な人口と急速な経済発展」するアジアの国々どのような関係を築くべきか、グループで考え発表する。
9	・西アジア・中央アジア		
10	4. ヨーロッパ州 ・ヨーロッパ州の自然環境 ・ヨーロッパの文化 ・ヨーロッパの統合 ・ヨーロッパの農業 ・EUの工業	・「国家間の統合による変化」に注目し、ヨーロッパ州の地理的特色を理解する。 ・北緯40度に着目し、日本の位置関係と比べ、ヨーロッパ州の地形や気候の特徴を理解する。 ・地図を活用し、宗派と言語の分布について理解する。 ・なぜヨーロッパは統合するようになったのか、統合のメリットとデメリットを考える。 ・酪農・混合農業・地中海式農業の分布を確認し、EUの農業政策を知る。 ・航空機産業を例に国際分業を理解する。EU統合の変化と課題を考える。	・【Ⅳ】「なぜイギリスはEUを離脱したのか」を調べることで、ヨーロッパ統合のメリットとデメリットをグループで考える。
11	5. アフリカ州 ・アフリカ州の自然環境 ・アフリカの文化 ・アフリカの産業 ・アフリカの課題	・「人々の生活の変化と自立をめざす動き」に注目し、アフリカ州の地理的特色を理解する。 ・高原や台地がアフリカ全土に広がる地形や赤道を挟んで南北に対称な気候分布を理解する。 ・歴史的な視点から、アフリカの民族・言語・宗教の違いを知る。 ・アパルトヘイトの廃止で大きく変化した、南アフリカ共和国の現状を考える。 ・アフリカの農作物や資源、モノカルチャー経済を理解し、その脱却法を多角的に考える。 ・アフリカ自国の取り組みや他国からの支援がどのように行われているか知る。	・【Ⅲ】教科書の資料「主な使用言語とアフリカ～ヨーロッパ間の航空路」から読み取れることをグループで話し合う。 ・【Ⅱ】フェアトレード認証製品とは何か調べ、具体的にいくらで売られているのか調べ、なぜ価格が「高い」のか、グループで考えて発表する。
12	6. 北アメリカ州 ・北アメリカ州の自然環境 ・アメリカの歴史 ・農業 ・工業 ・世界に広がる影響力	・「世界に影響を与える産業や生活・文化」に注目し、北アメリカ州の地理的特色を理解する。 ・北アメリカの断面図を分析することで、ロッキー山脈や平原の位置を明らかにする。 ・歴史的な視点から、北アメリカの民族分布や多様な文化を理解する。 ・大規模農業や適地適作、穀物メジャーなどアメリカ合衆国の農業の特徴を理解する。 ・重工業から先端技術産業への変化について着目し、理解する。 ・アメリカ合衆国の文化的特色とその影響力について、具体的に理解する。	・【Ⅲ】「なぜアメリカでは多様な農産物を大量生産できるのか」について、自然環境、生産方法、経営者の視点から、グループで考えて発表する。
1	7. 南アメリカ州 ・南アメリカ州の自然環境 ・多様な民族 ・進展する農業・工業 ・ブラジルに見る環境問題 ・産業の発展	・「産業や開発の進展と環境問題」に注目し、南アメリカ州の地理的特色を理解する。 ・地図を活用して、アンデス山脈やアマゾン川、熱帯林やパンパなどの位置を確認する。 ・歴史的な視点から、南アメリカの民族や多様な文化を理解する。 ・大農場での農業や資源に支えられる工業を日本と比べて考える。 ・ブラジルを例に、開発によるモノカルチャー経済からの脱却と環境問題について考える。 ・産業や開発の進展により、町はどう変化したか、知る。	・【Ⅲ】ブラジルを例に、「なぜ都市化が進むのか」、「都市化による問題点」を教科書で調べ、解決策をグループで考えて発表する。
2	8. オセアニア州 ・オセアニア州の自然環境 ・移民の歴史 ・産業 ・アジアとの結びつき	・「アジアとの結びつき」に注目し、オセアニア州の地理的特色を理解する。 ・オーストラリア大陸、ミクロネシア、ポリネシア、メラネシアの地形や気候などを理解する。 ・歴史的な視点から、白豪主義のオーストラリアが多文化社会に変化した実態について、理解する。 ・オーストラリアの農業について、降水量に注目し理解する。1965年と2015年のオーストラリアの輸出品の変化をグラフから正確に読み取る。 ・なぜオセアニアの国々は、アジアの国・地域と結びつきを強化しているのか分かる。	・【Ⅰ】「なぜオーストラリアは、アジアとの結びつきを強化しているのか」について仮説を立て、「オーストラリアの貿易相手国の変化」や「オーストラリアの輸出品の変化」のグラフを分析し、歴史的な視点を踏まえ考える。
3	9. 日本の政治 (本来は、6年で行う内容だが、授業内で十分に扱えなかった場合、7年でも行う。昨年度は、3月が休校となり、十分な時間を確保できなかったため、7年で扱うことを予定している。)	・日本国憲法の条文を取り上げ、国会・内閣・裁判所・地方自治のしくみを理解する。 ・日本国憲法は、国家の理想、天皇の地位、国民の権利と義務などが定められていることを、大日本帝国憲法との比較をしつつ理解する。	・【Ⅳ】「なぜ三権は分立されているのか」について、グループで考えて発表する。 ・【Ⅳ】選挙の投票率の向上のためにどのような対策をすべきか議論する。

教育方針

国際社会に貢献できるリーダーを育てる

心豊かなリーダーを育てる

創造力・自己発信能力をもったリーダーを育てる

社会科が育てたい児童・生徒像

世の中で起こっていることを正しく理解し、自分のこととして捉え、自らの考えをもち、地域や社会に貢献できるようにする。

8年

月	学習項目	学習目標・学習内容	探究 【Ⅰ】仮説検証型【Ⅱ】グローバル型 【Ⅲ】創造表現型【Ⅳ】読み取り・その他
4	古代国家と東アジア① 人類の始まり・世界の古代文明 縄文時代・弥生時代	<ul style="list-style-type: none"> ・人類がどのように進化したのか、道具や脳の容積に注目して考える。氷河期の地図と現代の地図を比較し、その違いを明確にする。 ・世界の文明の始まりの共通点が川の流域であることに気づき、各文明を比較する。中国の文明と中国の対外関係の在り方を考える。 ・縄文時代と弥生時代を比較し、社会がどのように変化したのかを説明する。 	<ul style="list-style-type: none"> 【Ⅲ】時代区分には、複数の考え方や解釈が存在すると考えた時、教科書にのっている区切り方以外にどんな区切り方ができるか？自分なりに考える 【Ⅱ】中国の領域の外で印が見つかるのはなぜか？を考え、中国中心の国際関係についての理解を深める
5	古代国家と東アジア② 弥生時代・古墳時代・飛鳥時代 奈良時代	<ul style="list-style-type: none"> ・ムラからクニへどのように変化したのかを理解する。鉄からヤマト王権成立の流れ、大陸との関係、ヤマト王権の支配の拡大を考える。 ・聖徳太子や聖武天皇の業績を整理する。 ・律令国家を目指すまでの過程を理解し、律令国家での人々のくらしや土地制度の変遷を掴む。 	<ul style="list-style-type: none"> 【Ⅳ】大陸の史資料に書かれている内容から、当時の日本の様子とその変化を読み取る 【Ⅳ】三世一身法と墾田永年私財法を読み取り、なぜ変更する必要があったのかを考える
6	展開する天皇・貴族の政治 平安時代	<ul style="list-style-type: none"> ・平安時代の大きな流れ(桓武天皇の遷都→藤原氏の摂関政治→白河上皇の院政→平清盛の政治)を確認する。 ・菅原道真による遣唐使の廃止で、国風文化が発展したことを理解し、その具体的な作品にふれる。 ・なぜ武士が出現したのか、政治・土地制度の点から考察する。 	<ul style="list-style-type: none"> 【Ⅱ】桓武天皇が目指した政治について、以前の天皇とはどのような点が異なっているのか。平城京と平安京の違い、桓武天皇以前の政治などに関して比較し、考える 【Ⅱ】荘園の成り立ちと国司に任された地方政治・武士の出現をからめて考え、中世社会の成立について解釈を深める
7	武家政治と東アジア① 鎌倉時代	<ul style="list-style-type: none"> ・鎌倉時代の流れを大まかに理解する。封建制度の仕組みを理解する。 ・武家政権の支配の広まりと、東アジアの関係を考察する。「蒙古襲来絵詞」を読み解き、モンゴル軍と日本軍の戦法の違いを考える。 	<ul style="list-style-type: none"> 【Ⅳ】承久の乱後の幕府支配に関して、守護設置や地頭設置に関する分布図を読み取り、何が言えるのかを考える 【Ⅲ】竹崎季長は、御恩のために戦ったのか？日本のために戦ったのか？について議論し、封建制度に関して再考する 【Ⅱ】徳政令の効果は、なぜ一時的なのか？を考え、当時の御家人の苦悩を考える
9	武家政治と東アジア② 室町時代	<ul style="list-style-type: none"> ・鎌倉幕府の滅亡・南北朝の争乱と室町幕府・東アジアの国際関係・応仁の乱とその影響などを理解し、社会がどのように変化したかを考える。 ・農業など諸産業の発達、畿内を中心とした都市や農村における自治的な仕組みなどを通して、民衆の成長や社会について理解する。 	<ul style="list-style-type: none"> 【Ⅳ】鎌倉と室町の幕府の職制を比べ、どんな変化が起こっているかを目的とともに考える。守護が与えられた権限の変化から、今後の守護がどうなっていくのか予想し、戦国大名に結びつける 【Ⅲ】徳政一揆を起こした農民は、有罪か？無罪か？について、中世の借金に関する考え方をふまえたうえで、根拠をあげて判断し、プレゼンする
10	武家政治の発展① ヨーロッパ世界の発展・安土桃山時代	<ul style="list-style-type: none"> ・ヨーロッパのルネサンス、宗教改革、大航海時代について理解し、世界の一体化が進んだことを理解する。 ・戦国の動乱、ヨーロッパ人の来航の背景とその影響、織田信長・豊臣秀吉による統一事業とその当時の対外関係などを通して、近世社会の基礎が作られたことを理解する。 	<ul style="list-style-type: none"> 【Ⅱ】ヨーロッパ人は、なぜ海外(アジア)進出を目指したのか、宗教・経済・文化などの面から考えるとともに、ヨーロッパ人の進出が日本に与えた影響も考察する。
11	武家政治の発展② 江戸時代初期～中期	<ul style="list-style-type: none"> ・江戸幕府の成立と大名統制、鎖国政策、身分制度の確立及び農村の様子を通して、幕府がどのように全国を支配しようとしていたのかを理解する。 ・江戸時代の鎖国政策と鎖国下の対外政策を、大名統制をふまえて掴む。 	
12	武家政治の発展③ 江戸時代中期	<ul style="list-style-type: none"> ・国内産業の発達や都市の発達、交通の整備を通じて貨幣経済が浸透してきたことを理解し、町人文化が栄える要因になったことと関連づける。 	<ul style="list-style-type: none"> 【Ⅲ】幕府の思惑とは違い、貨幣経済が浸透してきたことと、町人たちによって作られた江戸の町の活気をふまえ、町人から江戸時代を解釈すると、江戸時代がどのような時代であるといえるかを考える
1	武家政治の発展④・欧米諸国の「近代化」 江戸中期～後期・ヨーロッパのアジア進出	<ul style="list-style-type: none"> ・江戸の三大改革について調べ、改革の目標や政策の内容を理解し、比較する。江戸幕府が直面していた問題点が何だったのかを考える。 ・欧米諸国の「近代化」がどのように進んでいったのかを理解し、資本主義の成立とアジア進出を関連付ける。 	<ul style="list-style-type: none"> 【Ⅲ】三大改革と田沼の改革の特色・内容について理解したうえで、田沼の政治に関する評価を行う(田沼の政治は悪なのか？)
2	近代日本の歩み① 江戸時代幕末、明治維新、明治時代	<ul style="list-style-type: none"> ・明治政府が目指した新しい国づくりは、何を目標としていたのかを、富国強兵・殖産興業政策、文明開化などを通して理解し、社会の変化(教育・軍事・財政面)を考える。 	<ul style="list-style-type: none"> 【Ⅲ】現在保障されている自由が歴史上規制をかけられている事例は多くみられる。具体的な歴史事項を探し、その内容をまとめ、なぜそのような規制が必要だったのか、時代背景を含めて考え、プレゼンする(1年のまとめ的な位置づけで)
3		<ul style="list-style-type: none"> ・欧米に対する外交方針と、アジアに対する外交方針がどのように違うのかを岩倉使節団・征韓論・台湾出兵・日朝修好条規・日清修好条規から考える。 	